

長寿ふれあい食堂事業の
実施状況は

委員 長寿ふれあい食堂推進
事業の実施状況は。

高齢者支援課長補佐 当該事業は、会食事業の開催、高齢者的心身の健康増進または全・安心な日常生活に資する講座の開催、多世代交流機会の確保、その他、孤独感の解消等に資する取組に係る経費について、年間56万円を上限として補助するものである。

学校給食における米不足や
物価高騰への対応を聞きたい

委員 令和6年度の学校給食における米不足や物価高騰への対応を聞きたい。

委員 令和6年度の学校給食における米不足や物価高騰への対応を聞きたい。



▲食材を検品している様子

食堂を立ち上げる場合は年間50万円を補助するものである。令和6年度は2団体の合計として、会食23回分で17万6000円、講座の開催4回分で17万4000円、多世代交流や孤独感解消に資する取組12回分で22万円の合計57万円を補助金として交付した。

海外帰国児童・生徒等指導
支援の状況は

委員 海外帰国児童等指導費と海外帰国生徒等指導費について、令和6年度の予算と決算を比較すると、どちらも決算額がかなり少なくなっているが、支援の状況について聞きたい。

委員 予算について上昇していることや外国籍の児童・生徒が増加傾向にあることなどを踏まえ、申出があることなどが可能な金額を計上している。

海外帰国児童・生徒等指導
支援の状況は

委員 予算について上昇していることや外国籍の児童・生徒が増加傾向にあることなどを踏まえ、申出があることなどが可能な金額を計上している。

第7次府中市総合計画
委員 令和6年度に第7次総合計画前期基本計画の3年目を終え、7年度は同基本計画の最終年度となるが、進捗状況と評価は。

政策経営部長 6年度における行政評価の結果では、77施策のうち、計画以上の成果を上げたもの及びおおむね計画どおりの成果を上げたものが9割弱となっているため、各施策に掲げる「めざす姿」に向けた取組が着実に進んでいるものと捉えている。

一方で、計画をやや下回る成果であったという評価結果になつている施策もあるため、これらについては、引き続き目標達成を目指して事業を展開していく。

の問合せは減り、けやき並木の環境が良くなつたとの声もあり、成果は確実に上がつていると捉えている。しかし、いまだに一部ではごみの放置や喫煙などが続いているため、今後も誰もがマナーを守り、気持ち良く集い、憩うことができるけやき並木になることを目指して取り組んでいきたい。

とから、農地の貸借等を進めることで、転用されてしまうことから、農地を減らしていきたい。

農地の貸借等を減らしていきたい。

農地を減らしていきたい。

</div